

# 西伊豆健育会病院

医局 医師 秦 康博

**功 績** 在籍中の2年間、常に地域住民および西伊豆健育会病院のために豊富な知識を遺憾なく発揮し、診療の可能性を大きく広げ、医療の質の向上に寄与した功績。

**推 薦 者** 院長 仲田和正

**推 薦 理 由** 秦康博先生は当院の診療に大きく貢献して下さっただけでなく、患者さんにも職員にも常に『愛情を持って親身な対応』を実践し信頼を得ました。看護師、コメディカル、事務員だけでなく、同僚の医師からも尊敬されている秦先生の偉大な功績に感謝し理事長賞に推薦したいと思います。

## 内 容

---

秦康博先生は2年間、西伊豆健育会病院にいて下さいました。過去30年、放射線科医としてK医科大学やK医療センター等で活躍されてきましたが2年前、当院に赴任されました。

秦先生は長年、放射線科医として診療(画像診断とIVR)をしてきましたが、以前から医師としての基本的な研修を受けたいと思われていたようです。私のDVD(CareNet)を15年以上前にみて下さったらしく、50代も半ばとなった時に、このまま10年を過ごしては後悔すると考え一念発起し、当院での勤務を希望されました。

入職後、秦先生は豊富な知識を惜しげもなく医局員に教えて下さり、皆から全幅の信頼を置かれました。直近の三次救急病院、J病院には放射線科医はおらず、田舎の当院で診断が完結可能となりました。救急現場でも大変助かり、また肝臓穿刺などのインターベンションも可能となり、診療の幅が大きく広がっただけでなく、医療の質も各段にアップしました。

また秦先生は人格的に温和で素晴らしく、患者さんからの信頼もとても厚かったのです。更に職員からも『画像診断だけでなく、多くのことを学ばせていただきました。』『秦先生のいつでも誰にでも穏やかに接する姿勢を見習いたいです。』という声が多数聞かれました。本当に充実の2年間を過ごすことができました。

4月よりF医科大学 O医療センター 総合診療科へ赴任されることは、私たちには非常に大きな痛手です。しかし日本全体としては、このような宝を西伊豆に埋もれさせることは誠に惜しいと思います。F医科大学で多くの医師を教育することができます。